

いきいき学校応援団 地域と IT から学ぶ私たちのまち

野島電機株式会社 和崎 宏

《授業実施者》

ヒガシマル醤油株式会社 製造部
うすくち龍野醤油資料館

《実施した教育機関》

龍野市立小宅小学校 6 学年
龍野市立龍野小学校 5 学年

《実施した教科・単元》

総合的な学習の時間・社会

《授業のねらい》

全国的にも知られる地域の地場産業のひとつである「醤油」を取り上げ、ヒガシマル醤油株式会社、兵庫県指定有形民俗文化財として指定されているうすくち龍野醤油資料館の支援を受けて授業を行う。長くこの業界にかかわり、醤油の歴史を知り尽くす産業人であり地史研究者でもある館長の授業を通じて、地場産業としてうすくち醤油を築き上げた先人の働きについて理解し、郷土に愛情と誇りを持ち地域社会の一員として真に自覚を促すことをねらいとする。

醤油資料館の見学や情報コンテンツ化された資料、そして館長が地場産業として築き上げた先人の取り組みから、日本屈指の産業として発展させてきた現在までのエピソードを直接授業の中で語ることにより、ものづくりへの先人の志や地場産業の支えてきた会社に対する意識の芽生えから郷土愛を育ませることができる。

《実践事例》

【龍野小学校】

第1回 ヒガシマル醤油工場見学

- ・醤油の製法、品質管理、環境への対策という、学習の重点ポイントを、実際に現場で専門家の話を聞き、実物に触れることにより、理解を促し、地場産業に興味を持たせた。

第2回 うすくち龍野醤油資料館見学

- ・資料館内をまわり、展示物に触れたり、使い方を実演したりしながら講師の解説を聞いた。
- ・適時、質疑やクイズ形式の問いかけをしたりして、児童の興味を惹きつけながら進行した。
- ・製法や材料の違いを知り、実際に味わうことにより、「うすくち」と「こいくち」の違いを確認し、先人の知恵に興味を持たせた。
- ・うすくち龍野醤油の歩みを振り返ることにより、郷土に愛情と誇りを持つ自覚を促した。



第3回 醤油づくりと環境

- ・自然食品である醤油の特徴、環境問題とその解決に留意しながら、学習理解を深めた。
- ・産業紹介用ビデオを使って、製造現場の様子を振り返り理解させた。
- ・現場の生きた知識や経験を、もろみや甘酒など実物を持ち込んで体験しながら、地元企業の製品製造過程における徹底した品質管理の様子など、地場産業の努力、感激的なエピソードを紹介した。
- ・昔の資料や見ることができなかった工場の様子を、随時補助者が、動画や画像を CD-ROM からリアルタイムに検索して取り出し、講師の説明を理解しやすく支援した。
- ・学習を通して、ヒガシマル醤油が「環境にやさしい」企業であり、古い歴史を守りながらの企業努力をしていることを気づかせた。

第4回 龍野醤油の文化と歴史

- ・うすくち醤油の製造文化、存続の危機と産業としての成立、地場産業としての誇りに留意しながら、学習理解を深めた。
- ・醤油づくりや地域とのかかわり、時代の変化への対応など、知識や経験を、実物を持ち込んで体験しながら、地場産業を全国屈指の企業に育て上げた先人の努力、感激的なエピソードを紹介した。
- ・教室に持ち込めなかった資料館展示物などを、補助者が動画や画像をCD-ROMから検索して取り出し、授業内容についての理解を深めた。
- ・随所にクイズを交え、フリーなディスカッションのような形で確に児童の疑問を解決し、地域産業への興味と理解を深めた。



第5回 学習発表会

- ・小宅小学校と龍野小学校の間を、地域イントラネットを活用したテレビ中継で結び、相互の教室の様子をリアルタイムにプロジェクタで投影しながら、コラボ学習を進めた。
- ・自分たちが学んだことをクイズや紙芝居にまとめ、小宅小学校へ向けて発表する。



《今後の取り組み》

産業界における対応

- ・教育委員会は、本事業の成果を活用して、翌年度から希望する他の学校でも継続的に「醤油」をテーマとした授業を実施する。
- ・商工会議所が旗振り役となって、「醤油」につづく地場産業の授業支援を推進する。
- ・商工会議所が地元企業に、企業側のリソース・支援意識調査のアンケートを実施する。
- ・商工会議所が、上記調査結果をまとめ、データベース化を検討する。
- ・産業界講師をサポートする仕組みを検討する。
- ・地域のSOHO事業者の活性化を促し、事業の担い手を育成する。

教育現場・教育委員会における対応

- ・マルチメディアライブラリーを、教育委員会のサーバー上で運用し、地域イントラを活用して、全ての小中学校で利用できるように整備する。
- ・兵庫情報ハイウェイに地域イントラを接続することにより、県下の同様の教育コンテンツと相互交流・連携を図る。
- ・社会科副読本改訂にあたり、デジタルコンテンツ化を委員会で検討し、推進する。
- ・総合学習において、取材学習を含めた授業形態の導入を検討する。
- ・産業界との連携、他自治体教育委員会との連携を促進する。
- ・地域のボランティアスタッフ拡大の方策を検討し、個別に導入を図る。
- ・授業実施に際して、教師と産業界講師の綿密な打ち合わせを行う。